



絵：祝迫正豊先生（美術）

加治木だより

今を生き 未来を生きる

校長 黒木 浩二

なつかしい歌詞をひとつ。



青春の夢に あこがれもせずに
青春の光を 追いかけてもせずに
流れていった時よ 果てしない海へ
消えた僕の 若い力 呼んでみたい
恋でもない 何でもない
ほかのすべてを 捨てられる
激しいものが 欲しかった

小椋佳「しおさいの詩」です。世に出たのは一九七一年。当時高校生だった私の心をとらえて放さなかった歌です。

若者の瞳の奥に見える未来

PTA会長 濱崎 泰弘



先だつのPTA総会には多数の会員の皆様にご参加頂きありがとうございました。本校は校長先生の指導の下、文武両道を旗印

に、真摯に学問し、運動に汗を流し、友人と明るく和み、時に孤独に悩み、青春を謳歌できる環境を備えた古典的かつ普遍的魅力を備えた高校です。勉強と部活を両立させ、また遠距離通学の生徒も多いことから、時間を無駄にしない集中力が身につくのも本校の特徴と思います。一方、土曜講座や毎日当たり前のよう開かれる朝補習、部活の顧問としての活動など先生方の御苦労、教育にかける熱意を考えますと、本当に頭が下がる思いです。高校PTAの役割は会員同士の情報交換、親睦、資質向上に加えて、生徒の学校生活を

第 25 号
2011.7.20
加治木高等学校
PTA発行

〒899-5214
鹿児島県姶良市加治木町
飯屋町211番地

校長・PTA会長あいさつ P1
職員紹介 P2～5
各部及び生徒会より P6・7
部活動大会入賞記録 P8

このとき小椋さんは二十八歳。東大卒業後銀行員となり、結婚して一児がいました。青春と呼ばれる季節はすでに過ぎ、社会人として、大人として生きることが自覚せざるを得ないころの歌です。

青春への惜別と後悔。

東大を目指す小椋さんは高校時代をひたすら受験生として過ごしたのでしょう。受験戦争という言葉があまりありません。当時の大学受験は今とは比べものにならないものでした。それこそ、「青春の夢にあこがれもせず」、「青春の光を追いかけてもせずに」、時は流れていったことでしょう。

街には恋があふれ、スターに熱狂する少女たちの嬌声流れ、マイク片手に激しく政治を糾弾するヘルメット学生の姿がありました。「ほかのすべてを捨てられる／激しいものが欲しかった。小椋さんが欲した「激しいもの」とは何だったのでしょうか。おそらく具体的な何かではなかったはずです。

円滑にし、先生方の御苦労を少しでも軽減することにあります。今年度もPTA活動にご協力宜しくお願い致します。

さて、3月11日午後2時46分18秒、この瞬間が国は歴史の新たな局面に直面せざるを得ないことになりました。太平洋戦争以降、無数の方々のたゆまざる努力で築きあげられ、既に我々の世代の常識的な思考として一般化されていた観のある、経済的富裕、平和、物質的繁栄、などということがいかに無力で根拠に乏しいことであったか強く認識させられた方も多かったことと思います。悲劇的な報に接し、意気消沈し、健康状態を悪化させた大人も多かったと聞いています。

しかし、本校生徒は相変わらず若者らしく高校生活を謳歌し、その目は以前と変わらずきらきらと輝き未来を担う意欲にあふれているように見えます。そう、閉塞感の強い現状を打破し未来を開けるのは若者の力によるしかない、と私は確信しています。大人から見れば我が国の将来像には悲観的な見方が少なくありません

この詩を小椋さんの現実の歩みと重ねて読み解くと、そこに囚わらずも青春の実相と呼ぶべきものが浮かんできます。今を生き、未来を生きる存在としての青春の姿が……。

将来自立した社会人として生きるため、世のため人のために役立つ人間になるため。目標は未来の自分、今の努力はそのための手段。未来を生きるとはそういうことです。しかしその枠に収まらないのも青春です。時として青春は「ほかのすべてを捨てられる／激しいもの」を希求します。今という時間の燃焼を求めます。今を生きるとはそういう意味です。

宿命と言うべき青春の実相。だれもが経験し、やがて記憶の風化とともに片隅に追いやりたれゆく事実。「夢」や「光」とはかけ離れた満ち満ちた世界。

しかし最近、この姿をいとおしく感じるようになりました。定年の足音が聞こえ始めたせいでしょうか。

んが、報道されている幾多の分析の中で、私には欠落しているように思えてならないのは「若者の活性化」です。本来適応力と精神力に満ちた彼らは今回のような大きな困難に直面し、大きなストレスにさらされると、平和、安泰時には錆びついていたかもしれない潜在的な大きなエネルギーを発揮し、力強く新しい世界を拓いてくれることでしょう。本校生徒もあと10年もたてば各界の牽引車として我が国再生の原動力となるべく成長しているはずです。加治木高校でそれぞれの多感な青春時代を過ごし、個性を伸ばし、思考を深め、体を鍛え、勉強に励み、将来のリーダーとして耐えうる資質を身につけさせる事、それが私達大人に課せられた使命だと考えます。

大震災で亡くなった方、あるいは現在も行方不明の方は2万3千人余に及びます。一冥福をお祈りしつつ、また、現在も東北地方や福島第一原発で命がけの復旧作業にあたっておられる無数の無名の方々に感謝しつつ稿を終了します。

一学期を振り返って

生徒指導部 富岡 剛

携帯電話そしてインターネットは、ここ10年で急速に普及し、私たちの生活の中に組み込まれ浸透してきました。高校生にとっても例外ではありません。昨年の本校調査によると、携帯電話を利用している生徒は90%以上です。またWi-FiやPSP、任天堂DS等の身近なゲーム機も無線で簡単にインターネットへアクセスすることもできます。さらに最近ではスマートフォンが登場など高校生を取り巻く現状を考えると、ほとんどの生徒がメールやインターネット、SNS（ソーシャルネットワーク・キング・サービス）などを頻繁に利用していることは間違いありません。

私が高校生の頃は、携帯電話やインターネットといったものは存在しませんでした。今あらためて考えると昔マンガやSF映画の世界で登場していた夢のツールを、現在多くの人が手に入れ、たった30cmの画面を通して映画や音楽を楽しみ、世界中の人といつでも、どこでも瞬時にコミュニケーションを図り、電子マネーで取り引きをし、バーチャルの主人公でアドベンチャーを楽しむといったことを普通に行っています。現代人はまるでテレビや魔法を手に入れたものと同然でしょう。

このように携帯は大きな力を秘めており非常に魅力的な道具ですが、使い方を誤ると大きな問題へとつながることも事実です。近年よく起こる問題としてブログに誹謗中傷を書き込むといったネットいじめにより、心に大きな傷を負っている人。出会い系サイトで事件や犯罪に巻き込まれた高校生。オンラインゲームな

どで突然何十万円の請求を受けた人。ネット依存症で生活が昼夜逆転してしまいうなど社会問題となつています。以上のようなことに加えて、メールによるトラブルも頻繁に起きています。メールについて最近「人格・社会心理学ジャーナル」で発表された研究では、90%の人が自分の思いをメールで伝えられていると思っているのに対し、相手が正しく意味合いを捉える事が出来ていないのは実は50%であるという結果が出ています。また心理学者のアルバート・メラビアンは、人が好意的な感情を持つのは、言語が7%、声のトーンや調子が38%、表情やボディランゲージが55%といった研究発表をしています。やはり、他人とのコミュニケーションは直接会って話をすることがとても重要だと思いませんか。

携帯やパソコンで多大な恩恵を受けている私たちですが、逆に機械に使われ、金と時間を浪費させられることがあつてはならないと思います。ルールやマナーを守り、情報や機械と上手に付き合っていくことが現代人にとっての大きな課題であると思います。



創立記念式典

「タフであれ」

進路指導部 川崎 辰也

「俺はこのままでいいのかな?」「そのままでいいんですよ。タフマンでさいてくだされば...」二十年以上前の某栄養ドリンクのCMですが、この夏、再び「タフマン」がCMで復活していました。今度のキャッチフレーズは「なんだ、みんなタフマンだ!」。町ゆく大人達がハッスルしている姿が印象的なCMです。「タフ」とは「粘り強くたくましいさま、頑強だ、不死身だ」という意味ですが、人間は覚悟を決めて、何かを為そうとするとき、この「タフ」さが必要です。特に目標が高ければ高いほど...

一 「タフ」な心を作ろう
なんといつても手に入れたのは「タフ」な心です。

三年生の皆さん、いよいよ本番は目前に迫ってきました。残された時間をどれだけ有効に生かせるかは、目標に向けての気持ちとどれだけ持続できるかにかかっています。一・二年生の皆さん、受験勉強、部活動：これから乗り越えるべき壁はまだまだ沢山あります。どんな逆境でも諦めない姿勢と芯の強さを持つことが大事です。6Dと言われる「どうせ」「でも」「ダメだ」「できない」「どうしよう」「だって」という言葉を封印し、夏を力強く乗り切りたいと思います。

二 「タフ」な知性を磨き上げよう

皆さんはこの一学期間どのような勉強をしてきたでしょうか。課題を提出するためだけ、テストのためだけの勉強に終始してはいませんか?例えば、数学では公式や解法を意味も押さえないままの丸暗記をするという学習の仕方です。日々目覚ましく変化し、多様な価値観が

溢れる現代社会で皆さんに求められているのは付け焼き刃の知識ではありません。真剣に学問と向き合った者のみが手に入れている揺るぎない「タフ」な知性です。この夏、じっくりと学習に取り組んで欲しいと思います。徹底的に課題に取り組む、苦手科目の教材を一からやり直してみる：夏休みは、その場しのぎではない学習へ転換する、絶好のそして年に一度のチャンスです。三年生にとっては、最後のチャンスということになります。誰のためでもない、自分の人生のために、「タフ」な知性を磨き上げる夏にして欲しいと思います。

三 「タフ」な体を

最後に、当たり前のことなのですが、「タフ」な心、「タフ」な知性、この二つを支えるには、まずは体力・健康です。健康であるためには、何より規則正しい生活を送ることが大事だと思います。

もうすぐ夏休みです。熱い夏を勉強や部活動等に一心不乱に打ち込み、「タフ」な人間に成長することを願うばかりです。特に三年生にとっては、この夏は受験の天王山です。

「タフであれ!」決して濁点がついて、「タフ(懦夫)」にならぬよう。

「あなたがた、タフマン!」



クラスマッチ

夢も持ち、健康で充実した高校生活を

保健部 五 領 壮 太

W H O (国際保健機関) の健康の定義は「身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態」となっています。しかし、現代社会においてこのように完全に良好な人がどれだけ居るのでしょうか。様々なストレスから心が体に悪い影響を与え心身症に悩む人も多くいます。そんなとき雑誌である小学生の作文を読みました。

「僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。」

そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようにするためには練習が必要ですが僕は三歳の時から練習を始めています。三歳から七歳までは半年くらいやっていましたが、三年生の時から今までは三百六十五日中三百六十日は激しい練習をやっています。

だから、一週間で友達と遊べる時間は五、六時間です。そんな練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です。僕が自信があるのは投手か打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そして、ほとんどの投手を見てきましたが自分が大会ナンバワン選手と確信でき、打撃では県大会四試合のうちホームラン三本を打ちました。そして、全体を通した打率は五割八分三厘でした。このように自分でも納得のいく成績でした。そして、僕たちは一年間負けしらずで野球ができました。だから、この調子でこれからもがんばります。

とにかく一番大きな夢は野球選手になることです。」

作者は現在活躍するあるプロ野球選手だそうです。

これが小学生の作文かと驚かされます。自分の夢に対して少しの迷いもなく堂々と綴っています。

また自分の夢を実現するために一年のうち三百六十日を練習に費やし、友達と遊びの時間は一週間でたったの五時間といい、他の子であれば泣いて止めそうな事を迷いもなく実行しています。さすが大選手の子供時代です。

様々なストレスが私たちを襲い、精神的な健康がクローズアップされる現代社会。この作文のように「夢を持ち努力すれば夢は叶う」を実現した作者のプロ野球選手に習い、自分の人生の目標をしっかりと持ち、やりがいや自分の役割をみつければ、毎日の生活を生きてしたものにしませう。そうすることで心の充実感が体に良い影響を与え、精神的にはもちろん身体的にも健康が保たれ充実した高校生活が送れるのではないのでしょうか。



予防歯科実習

愛を信じて

前生徒会長 笹 峯 桜

幼い頃から一度は「長」になってみたいという憧れはあったが、自分には無理だという諦めから、高校二年生になるまでは、私は生徒会本部とは無縁の人間だった。だから、入学した時は、まさか本当に希望が叶って会長になるとは夢にも思わなかった。そして、自分が会長になった時も、何かの間違いではないかと思っただ。

就任してしばらくは、会の運営体制がわからず、立ち往生した。また、本部役員のほとんどが生徒会経験者だったため、周囲より仕事ができない自分が、ひどく無価値な人間に思えた。仕事がよくやくわかって始めたのは、龍門祭が終わってしばらくしてからだった。それはあまりにも遅すぎるスタートだったが、これ以上本部役員をはじめ、多くの人々に迷惑をかけられないという気持ちから、会長としてやっていく腹が据わった。それから、他人から何を言われようとも私が会長という自覚を持ち、生徒会活動に臨んだ。だが、やり残したことが多くあり、学校の皆さんに対して申し訳なく思う。

この一年間を通して学んだことは、自分の考えを必ず理解してもらえなくては限らないから、自分をわかってくれる人を大切にしなければならぬこと、「長」は栄光ばかりではないこと、自分・人を信じ、前向きに生きることの大切さ、相手を理解することの大切さ、正義は必ず通ることなどであった。学ぶことが毎日の毎日、つらいこともあったが、今は会長になって本当に良かったと思っている。この経験は一生忘れないだろう。

最後に、こんな私を一年間支え、応援してくれた全ての人に心からありがとうを言いたい。そして次は、森下君率いる新生徒会の活躍を期待し、応援したい。一年間本当にありがとう。

私が目指す加治木高校

生徒会長 森 下 弘 陽

「私が目指す加治木高校」

この度、平成二十三年度生徒会長に就任いたしました、森下弘陽です。私が生徒会長に立候補したのは、三月に起こった東日本大震災を目の当たりにし、同じ日本人として、加治木高校でも何かできることがあるのではないかと考えたからです。そこで、私は一人一人が何をすべきか考え、行動し、社会に貢献できる学校にしていきたいと思っています。

私は会長になってから、友だちからも今まで話したことのない人からも「会長！」と、声をかけられるようになりました。そういう状況に、喜びながらも「しっかりとこの学校をまとめないと。」という自覚を持つようになりました。これからは、クラスマッチや文化祭、体育祭などの大きな行事があります。生徒会はこれらの学校行事がスムーズに進むようにしなくてはなりません。その中でも、会長は全体を把握し、目を配り、臨機応変に指示を出さなくてはなりません。私がしっかりと周りを見て行動しなければ、行事がグダグダになってしまう。そんなに重要な役目を担ったのだということ、そして何をすべきかを改めてしっかりと考え、生活していきたいです。

私は最初の方で「社会に貢献できる学校にしたい」と書きました。このような学校にするためには、生徒会執行部のみが行動しても達成するのはかなり難しいです。生徒のみなさんをはじめ、先生方にも協力を頂かなければ理想の学校にはできません。執行部も一生懸命頑張ります。みなさん、御協力よろしく願います。加治木高校一丸となって、よりよい高校にしていきたいと思います！

部活動大会参加
及び入賞記録

(11.7. 現在)

体育部門

始良・伊佐地区春季大会

- ▽ダンス 最優秀賞
▽サッカー 優勝
▽ハンドボール
男子3位 女子4位
▽野球 優勝
▽バレーボール
男子予選敗退 女子予選敗退
▽卓球
男子団体 3位
男子S 増満 3位
男子D 増満・千歳 3位
女子団体 A2位 B3位
女子S 相星ベスト8
榎木ベスト8
女子D 田中・三井 2位
▽陸上
男子総合 1位
100m 豊 1位
400m 豊 1位 宮内 3位
800m 竹山 1位 矢崎 2位
1500m 川添 2位
5000m 伊藤 3位
走幅跳 宮内 1位
400m R (田實・豊・日高・中崎) 1位
1600m R (豊・宮内・日高・中崎) 1位
女子総合 3位
400m 今藤 1位 中原 3位
走幅跳 宮田 1位
走高跳 松山 1位
800m 下小牧 3位

▽水泳
400m R (福森・宮田・今藤・松山) 2位
男子
200m メドレーリレー 2位
200m フリーリレー 2位
50m 自由形 松田 1位
100m 自由形 吉田 1位
200m 自由形 榊原 1位
100m 自由形 森 1位
50m 自由形 森 1位

県内大会

- ▽剣道
男子団体 3位
男子個人 森島 3位 西 3位
女子個人 小原 優勝 内園 3位
▽バスケットボール
男子 第3位 女子優勝
▽弓道
男子団体 3位 女子団体優勝
男子個人 黒鳥 4位
女子個人 上村 優勝
地福 4位 村山 5位
▽バドミントン
男子団体1回戦 女子団体 準優勝
女子D 桃山・曲田 3位
男子D 池井・東 3位
▽テニス
男子団体 準優勝
男子S 寺岡 準優勝
男子D 寺岡・中山 準優勝
女子団体 優勝
女子S 上野・堂込 両名優勝
市来 3位
女子D 上野・丸山 優勝
市来・堂込 優勝
▽ラグビー
第3位
▽空手道
個人形 谷口 1回戦 中村 2回戦
▽ダンス 高校総体 審査員特別賞
▽サッカー 高校総体 ベスト16
▽ハンドボール 高校総体
男子ベスト8 女子1回戦
▽野球 春季九州高校野球大会
3回戦
▽バレーボール 全九州県予選
男子1回戦 女子3回戦
▽卓球 高校総体 女子3回戦 男子1回戦
男子団体ベスト16 女子団体 1回戦
男子D 千歳・増満ベスト32
男子S 増満ベスト32
▽陸上 高校総体
女子走高跳 松山 4位
▽水泳 春季大会
50m 自由形 森 4位
50m バタフライ 北田 7位
50m 平泳ぎ 中村 8位
高校総体 50m 自由形 森 3位
▽柔道 高校総体 団体男子1回戦
個人戦1回戦 ハケ代 竹下
2回戦 小山田
▽剣道 高校総体 男子団体ベスト16
▽バスケットボール
高校総体 男子ベスト16 女子1回戦
4県対抗予選 男子2回戦 女子4回戦
▽弓道 高校総体
男子団体準優勝 女子団体 優勝
男子団体1回戦 春季選手権
▽バドミントン
男子団体1回戦 女子団体2回戦
県春季大会 男子団体1回戦
女子団体2回戦
▽テニス 高校総体
男子団体2回戦

文化部門

県内大会

- 男子S ベスト32 寺岡
男子D ベスト32 寺岡・中山
女子団体ベスト8
女子S ベスト32 上野・堂込
女子D ベスト16 上野・丸山
▽ラグビー ベスト8
▽空手道 高校総体
個人形 谷口 中村1回戦
個人組み手 谷口2回戦 中村1回戦
▽弓道 九州大会
女子団体 優勝
▽陸上 南九州大会
女子走高跳 松山 2位
▽放送部 NHK杯県予選
創作ラジオ部門 優良賞
▽文芸部
第三五回全国高等学校総合文化祭
文芸誌部門 清藤隆広
▽国際親善部
高校生英語弁論大会
原口朋子 優秀賞
▽美術部
九州高文連美術・工芸・書道・写真展
(熊本大会)
美術・工芸部門 山下葉月 優秀賞
▽国際親善部
英語弁論大会九州大会
原口朋子 奨励賞

県外大会